

1 H30 学校評価シート(分掌・学年会)

平成30年度 短期目標・具体的施策・成果／取組指標

	短期(重点)目標	具体的方策	成果(数値)/取組(スケジュール)指標
総務部	① 全教職員の共通理解のもと、学校行事を円滑かつ組織的に行う。 ② 広報活動を充実させ、PTA・地域との連携を図る。	①-1 他の分掌や学年会と連携と調整を図り、式典・避難訓練・創立60周年記念事業などの行事を円滑に運営する。	①-1 入学式・卒業式:学年会や係と打合せ1回以上 避難訓練:年2回 創立60周年記念式典:10月13日実施 記念誌:3月15日発刊
		①-2 学校行事の立案計画を迅速に進めるとともに、行事の精選を進める。	①-2 運営委員会:年35回以下 職員会議:年20回以下 年間行事予定表検討:5回以上
		②-1 江津高校の教育活動に理解と協力を得られるよう、ホームページを中心にPTA広報誌『星高』・『学校だより』等で情報を発信し、工夫・改善を進める。	②-1 ホームページ更新:年20回以上 PTA広報誌『星高』:年2回発行 『学校だより』:年5回発行
		②-2 PTAや江星会と連携し、各種行事を円滑に進めて活性化を図る。	②-2 PTA総会:5月12日実施 出席率40%以上 PTA役員会・評議委員会:年2回 PTA専門委員会:年各2回
教務部	①主体的な学習習慣を身につける。 ②読書に対する興味関心を高め、多様な知識や教養を身につけようとする態度を養う。	①-1 各授業担当者に宿題、課題の定期発行を働きかける。	①-1 宿題によって、授業外学習時間は増加したか。
		①-2 学習時間調査を通して、生徒個々の学習時間を学校全体で共有する。	①-2 学習時間調査実施ごとに分析用資料を発行できたか。
		②-1 図書館だよりを毎学期に2回発行する。	②-1 図書館だよりを毎学期2回発行できたか。
		②-2 年2回の読書週間を実施する。	②-2 読書週間を年2回実施できたか。

生徒部	<p>○生徒部分掌目標  様々な活動をとおして、生徒一人一人の人権を尊重し、豊かな徳性をそなえ心身ともに健やかな人間を育成する。</p> <p>(1)生徒指導  学校生活や部活動等をとおして、生徒が意欲的・自発的に行動することを支援する。</p> <p>(2)人権・同和教育、道徳教育  多様性を尊重し、人間関係力を高めるとともに人権感覚を磨く。</p> <p>(3)保健  校内環境を整え、健康の大切さを意識させるとともに、生徒支援に配慮する</p>	<p>(1)生徒指導  ①いじめ防止、服装規定の遵守等についての方策を年間をとおして定期的実施し、安全・安心・快適な学校づくりに取り組む。</p>	<p>①いじめ防止に関するアンケートを年2回実施し集計結果を教職員で共通認識する場を設定できたか。  制服着こなしセミナーを各学年ごとに開催し、全教職員で指導に当たれたか</p>
		<p>②生徒会活動や部活動・ボランティア活動等をとおして、生徒が自己有用感を高められるような取り組みを行う。</p>	<p>②生徒会活動や部活動をとおして生徒の自己有用感や帰属意識が高められたか。</p>
		<p>(2)－①人権・同和教育  1)ホームルーム活動・教科学習・部活動などあらゆる学校活動をとおして、段階的、系統的な人権教育の推進を図り、自他を互いに尊重できる集団づくりに取り組む。  2)校内研修の充実や校外研修の校内への還元により、生徒・教職員の人権意識を高め、よりよい人間関係の構築を図るための実践に取り組む。</p>	<p>①人権・同和教育に関するHR活動を系統立てて各学年毎に毎学期実施できたか。</p>
		<p>(2)－②道徳教育  1)様々な集団活動をとおして、社会生活のマナー・モラル・ルールを養成し、他者の思いを理解しながら、自分の在り方生き方を模索していく態度を養う。  2)自らの「ふるまい(礼儀、作法、挨拶、しぐさ、モラル、ルール、しつけ、道徳、倫理観、生活行動、思いやり)など」を省みて、地域と連携しながら社会全体の「ふるまい推進」を図る。</p>	<p>②コミュニケーション力向上トレーニング(コミトレ)の資料を毎週配布し、自他を尊重する態度を養うことができたか。</p>
		<p>(3)保健  ①定期健康診断・保健だよりや保健講演会等をとおして、健康の大切さを意識させる。</p>	<p>①計画的に健康診断を実施し、担任等の協力を得て速やかに通知すること0ができたか。</p>
		<p>②清掃ミーティングを行い協働して清掃活動に取り組みせるとともに、安全点検を年2回実施し、事務部と連携して校内環境の整備に努める。</p>	<p>②清掃ミーティング、安全点検を計画的に実施し、環境美化・環境整備を行うことができたか。</p>
		<p>③支援を必要としている生徒に対して、関係する教員等で連携しながら対応する。</p>	<p>③全教職員で支援を必要としている生徒の共通理解を行い、関係する教員等で連携しながら支援することができたか。</p>

進路指導部	<p>重点目標 『自らの進路探究を通じ、生徒一人一人が地域課題解決に立ち向かう基を育てる』</p> <p>① 進路実現のための基盤となる学力の定着・充実・向上を支援する。</p> <p>② 進路意識を早期に育て、自らの進路実現に向けて主体的に立ち向かう力を育てる。</p> <p>③ 進路探究学習を通じ、広い視野を持ち、地域社会に貢献する力を育てる。</p>	①-1 3年学年部と連携し、進学、就職・公務員等進路別補習を計画・実施する	①-1 年3回の補習(平日・夏期・冬期)を計画的に実施できたか。
		①-2 学年部と連携し、スタディサポートを計画的に実施することで各学年の報告会や検討会を通じ生徒の学力の定着及び向上を図る。	①-2 年2回のスタサポ・報告会を計画的に実施できたか。
		②-1 進路希望調査、検討会等を通じた的確な情報を生徒に提供する。	②-1 進路希望調査・検討会は計画的に実施できたか。
		②-2 オープンキャンパス・体験活動・説明会等への参加を生徒に促す。	②-2 計画的に生徒へ情報提供を行うことができたか。
		③-1 自分自身を見つめつつ、進路選択に関する情報収集やその整理整頓をすることにより、自身の生き方やあり方を浮き彫りにさせ、表現させる。 ・三瓶研修での進路学習(1年) ・進路サポート(進路探究ワーク)の活用(1、2年)	③-1 三瓶研修での進路学習(進路ミュージカル)は計画的に実施されたか。・進路サポート(進路探究ワーク)は計画的に活用されたか。
③-2 地域や社会に関する課題を設定し、実体験などを含む課題探究型学習を通して、地域や社会における自分の役割を浮き彫りにさせ、表現させる。 ・KWARAプロジェクト(1年) ・KWARAプロジェクトⅡ 進路探究講座(2年) ・インターンシップ(2年) ・進路課題探究発表会	③-2 インターシップは計画的に実施されたか。課題探究発表は計画的に実施されたか。		
事務部	<p>① 学校施設・設備の安全安心な環境を整備する。</p> <p>② 学校予算の効率的・効果的な執行を行う。</p>	①-1 校地内施設・設備等の日常点検等により、問題の早期発見に努め、事故等の未然防止に取り組む。	①-1 日常点検及び月4回程度の校内巡視、情報収集により、危険箇所・問題の早期発見に努める。
		①-2 計画的に校内の整理・整頓、不用品の処分等を行い、優先順位を考慮しながら、教育環境の向上に努める。	①-2 破損箇所を発見した場合は、被害を最小にとどめるため、迅速かつ適正に対処する。
		①-3 危機管理体制の確立を図り、災害時等、迅速かつ適切な対応に努める。	①-3 危機管理マニュアルの周知徹底を図る。
		②-1 適切な予算管理を行い、必要性・費用対効果等を勘案しながら執行する。	②-1 エコに対する校内の意識を高め、光熱水費等の節減を図る。
		②-2 就学支援金、奨学のための給付金等の制度周知に努め、保護者の負担軽減を図る。	②-2 保護者への説明、わかりやすい文書の配布により、制度の周知を図る。

1年学年会	<p>「高校生としての自覚を持ち、他者や地域とのつながりの中で自己のあり方や生き方について考える。」</p> <p>①基本的な生活習慣と学習習慣を身につける。</p> <p>②出合いを大切に、多様性を受け入れ、円滑な人間関係を構築する。</p> <p>③自己理解や地域理解を深め、進路選択の基盤を作る。</p>	①-1 語先後礼、気持ちの良い挨拶の徹底を図り、校則に則った身だしなみなどルールを遵守させる。	①-1 学期に2回以上の個別面談を実施する。
		①-2 学習時間調査や面談を利用して、生活リズムの確認と個々の課題の自覚を促し、学習習慣の定着を図る。	①-2 学習時間調査を活用し1学期末までに必要な学習習慣の定着を図る。
		②-1 三瓶宿泊研修で良好な人間関係の基盤を築く。	②-1 三瓶研修についてのアンケートで8割以上が肯定的な回答をする。
		②-2 ホームルーム活動、キャリア学習、ボランティア活動などで他者と協力して活動させる。	②-2 各活動についてのアンケートで8割以上が肯定的な回答をする。
		③-1 キャリア学習や地域との連携活動などで、目的を共有して活動に取り組みさせる。	③進路サポートの進路探究ワークに全員が意欲的に取り組み、提出する。
③-2 他者や社会とのつながりの中で自己のあり方や生き方について考え、進路サポートを利用してそれを明確にさせる。			
2年学年	<p>「江津高校生として主体的・積極的に活動に取り組む生徒を育てる」</p> <p>①自己の課題に気づき、進路目標に向かって学習を意欲的に行う</p> <p>②さまざまな活動を主体的に行う</p> <p>③社会や地域で自己の存在を活かす学びを行う</p>	①学習時間調査や面談、学期毎の振り返りを通して、学習目標や進路目標を意識して家庭での学習に取り組むことができる姿勢を確立させる。	①学習時間や家庭学習内容の調査を定期的に行い、学期に2回の面談を実施して、取り組みを修正、向上させる。課題の期限内提出率向上を目指し、提出率が著しく低い生徒については放課後を活用して学習に取り組ませる。
		②-2 中堅学年としての役割を意識し、他者に配慮した言動をできるようにする。	②-1 諸活動にあたって、事前の計画や活動目標を周知させ、事後に振り返りを行うことを徹底する。
		②-1 生徒会活動や部活動などの活動に主体的に取り組ませる。	②-2 場面に応じて、ふさわしい態度や言動に気づかせる声かけを行う。
		③総合学習やボランティア活動、各種体験等に積極的に取り組み、自己有用感が高まるよう支援する。	③総学では地域に出掛けて学習を行う機会を設け、各種体験やボランティアについては情報を提供し参加を促す。
3年学年会	<p>江津高校の3年生として、地域・社会との関わりや、最高学年としての意識を高め、主体性を発揮させる。</p> <p>①自己の課題を意識して学習に取り組ませる。</p> <p>②地域・社会の課題を意識した上で進路設計を考えさせ、自分に必要な実践を把握させる。</p> <p>③地域とのつながりの中で、他者を意識した責任あるふるまいを身につけさせる。</p>	①「学習時間調査」、「振り返りシート」、「模試」、「面談」の活用により、自己の課題の確認と修正を行い、意識の向上につなげる。	①-1「学習時間調査」結果で「1000分/週」以上が70%以上 ①-2学期に3回以上の面談を実施
		②「部活動や生徒会活動」、「地域での活動」等の全ての活動環境を整え、積極的に取り組み、将来につながるよう導く。	②毎月の「振り返りシート」を活用し、活動への参加状況や満足度を把握 (達成度 80%以上)
		③-1 自ら進んで「挨拶」する態度や、思いやりのある言動を身につけさせる。	③-1授業、諸活動の開始と終了時を利用して「語先後礼」の実践
		③-2 社会で通用する「身だしなみ」と「態度」を意識して、諸活動に熱心に取り組ませる。	③-2毎月の「振り返りシート」を活用し、実践状況を把握(達成度 80%以上)